



黄金の森

2024年6月 7日発行
南風原町立 南風原中学校
発行者 校長 比嘉智也
校長だより第5号

【教育目標】 目標を持ち自ら学ぶ生徒 心豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康で忍耐力のある生徒

人間の価値は何で決まるのだろうか？

島尻地区夏季総体は、天候不良のためいくつかの競技が日程変更になり今週末での開催となっています。行われた競技では、男女剣道・男女ハンドボール・男子卓球部が見事に優勝し、男女硬式テニス部が準優勝しました。おめでとうございます。これから開催の部活も良い結果を期待しています。また、惜しくも敗退した部活は、次の目標に向けて頑張ってくださいと思います。

「評価価値」と「本質的価値」

人間の価値は何で決まるのだろうか？ 皆さんはそんなことを考えたことがありますか？

そもそも、人間の価値って何で決まるのでしょうか？

「人間の価値」ネットでそう検索すると、社会の成功者になって、高額納税者になって、世の中の役に立つ人、人を喜ばすこと、人間社会に於いて他の人を楽にすること、器のでかさ、その人の社会的地位や収入 などなどと、いろんな意見があるようです。でも、本当に人間の価値ってそんなものなのでしょうか？

人間には二つの価値があるという話があります。

一つは「評価価値」といわれるもの。

評価価値とは、「仕事ができるできない。」「かっこいい、かっこ悪い。」「頭がいい、頭が悪い。」自分とは別に評価する人がいて、その評価する人の基準で上がったり、下がったりする価値のことです。多くの人はこれが「自分の価値である。」そう思っています。

社会の成功者になって、高額納税者になって、世の中の役に立つこと、人を喜ばすこと、人間社会に於いて他の人を楽にすることなど、

これらもすべて、評価する人がいて、評価される人がいる。だから、良い評価を受けるために一生懸命頑張ります。出来たらよろこび、出来なかったら落ち込みます。

でも、人間の本当の価値とは、そんなことではないのです。

本当はそんな「評価価値」だけを気にして生活するのではなく、そんな他人が判断する評価価値よりももっともって大きくて大切な価値。それがもう一つの価値、「本質的価値」。

人間には本質的価値という大きな価値が誰にだって備わっています。

頭が良かろうが悪かろうが、お金持ちであろうが、貧乏であろうが、認知症で記憶を無くしてようが、みんな同じように素晴らしい価値があるのです。

人は、自分の何らかの能力のなさを、自分の本質的価値がないと勘違いして、落ち込みます。

また、能力だけではなく、性格も同様で、性格のよい悪いが人間の本質的価値と関連があるわけではありません。

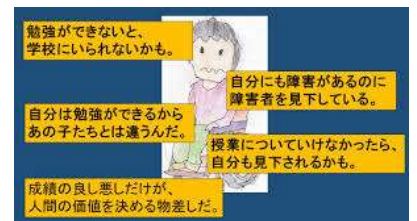
性格がよいから価値がある、性格が悪いから価値がないということでは決してありません。

「人間の本質的価値」は、そういったものでは測れないもので、優れているとか劣っているとかそういった尺度にならないのです。

「自分は将来何がしたいのか？」「そのためには、今何をすべきなのか？」

「自分の中の大切なモノはなにか？」「それは本当に大切なのか？」ということなのです。

「みんなが勉強をしているから勉強をする。」のではなく、「何のために勉強をするのか？」と考えることも同じです。今一度、「評価価値」ではなく「本質的価値」について考えて行動してみてくださいましょう。



手放していいと思う価値観

誰もがこれまで当たり前だと思っていたことも、どんどん見方や考え方は変わるものです。そこで、いろいろな書物にある「手放していいと思う7つの価値観」を紹介します。

1 「他人に頼ってはいけない」という考え

人は一人では生きていけないもの。時には他人に頼ることが、より良い解決策を生むこともあります。協力し対話し合うことで、互いに成長できるのです。

そして、最終的には自分で決定することが大切です。



2 「友達は多い方がいい」という考え

多くの友達がいることは素晴らしいことですが、数より質が大切。心から信頼し合える友人が一人でもいれば、それで十分とも言われています。深い絆を持つことが、人生を豊かにしていきます。



3 「逃げてはいけない」という考え

逃げることは必ずしも悪いことではありません。時には立ち止まり、方向転換することが必要です。自分を守るために逃げることも、賢明な判断と言えるでしょう。

4 「結果を残さないと意味がない」という考え

結果を残そうとすると人は焦ってしまいます。もちろん結果は大切ですが、プロセスにも価値があります。

失敗から学ぶことも多く、その経験が次の成功につながるのです。

結果だけにとらわれず、過程を楽しむことも大切に、自分なりの成功体験を繰り返していきましょう。

5 「いい人でなければならない」という考え

常に他人の期待に応えようとすると、自分を見失ってしまいます。

時には自分の意見を主張し、自分らしくいることが大切です。

自己犠牲は時に自分を苦しめることになることがあります。



6 「他人と比べて自分が劣っている」という考え

人と自分を比べるのは、無意味なこと。私たちはそれぞれ違う人生を歩んでいます。

他人と比較するのではなく、自分自身の成長に焦点を当ててみましょう。



7 「完璧でなければならない」という考え

完璧を求めることは、ストレスの原因になります。完璧な人はどこにもいません。

ミスしないことよりも、ミスを許容できる器の方が大切です。

自分の欠点を受け入れ、それでも前に進む勇気が大事なのです。

まとめ

どうでしたか？ここまで手放してもいいのではないと思われる価値観を紹介してきました。

皆さんのこれからの人生の参考になれば嬉しく思います。

何事も決めつけずに、柔軟な考え方で生活していきましょう。



校長クイズ

- カレーにとってもこだわる国はどこ？
- 「古いんじやな〜い」ていわれているお菓子は？

前号クイズの解答

- サッカー(作家)
- 剣道(市内)